



陽だまり



写真：令和7年度能登被災地訪問研修事業にて

すべては子どもたちの笑顔のために



令和8年度
広島県PTA連合会 会長

く どう たか ゆき
工藤 孝之



◀CHECK!
工藤会長の活動歴をもっと
知りたい方はこちらからどうぞ！

ごあいさつ

日頃より、県内各地域におきまして、PTA活動にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、ご縁をいただき、令和8年度、広島県PTA連合会会長を拝命しました、工藤孝之と申します。

世界最小の微力ではございますが、この1年を全身全霊全力で、そして、誰よりも楽しむことを忘れずに駆け抜けて参りたいと思っております。

いつのときでも「すべては子どもたちの笑顔のために」を胸に掲げ、すべての判断は「それは子どもたちの未来の笑顔に繋がるか」を一番の判断基準とし、子どもたちの「楽しい!」をもっともっと引き出せるPTA活動を、皆様と輪になって、実践していきたいと思っています。

保護者の皆様

どうか1年、私に力を貸してください。

私も、皆様と同じ一人の子どもの保護者として、小学校6年間、中学校3年間、子どもたちが幸せな日々を過ごすことを心から願っています。

かけがえのない子どもたちの毎日に、「PTAが出来ることはなにか」を懸命に考え、その答えを実践していきます。

私は信じています。

「大人たちが最高の笑顔で活動するPTA」を必ずつくることができるということを。

そして、その笑顔は必ず子どもたちの笑顔に繋がるということを。

教職員の皆様

子どもたちが生きる毎日の多くの時間は、「学校」という世界が待っています。

9年間、「学校」で過ごす時間は、私たち保護者と向き合いながら過ごす時間よりも、圧倒的に多いのかもしれませんが。

また、先生にしか見せない表情もきっと多くあると思います。私たちとともに、愛情深く、応援団の一人として、子どもたちを見守っていただけたら幸いです。

そして子どもたちへ

誰がなんと言おうと、私たちはあなたたちの味方です。

PTA活動歴

PTA会長歴 9年 役員歴13年	就任 令和8年度 県PTA連合会 就任	全国表彰 令和4年度 優良PTA 文部科学大臣 表彰受賞	ボランティア 制度 PTA活動の ボランティア化 に成功	制服無償譲渡 活動 1,200 着以上	メディア取材 講演実績 県内各地 多数
-------------------------------	------------------------------	--	--	-------------------------------------	-------------------------------------

主な立ち上げた事業

灯りまつり コロナ禍でも 思い出を！ 地域もつながる 伝統行事	星空映画祭 市内に先駆けて 実施した 野外映画祭！	劇団四季 バスツアー クラウドファン ディングを活用 本物の舞台芸術 体験ツアー！	学校へ泊まろう！ 応募数 420 名超	ソフトバレー大会 参加数 700 人以上 子ども150人超
---	------------------------------------	--	-------------------------------------	--

心からあなたを愛しています。

あなたの笑顔を見たくて、毎日の仕事も家事も頑張っています。

そして、このPTA活動も、きっと理由は同じです。

あなたの笑顔を見たくて、あなたの未来の幸せを守りたくて、頑張っています。

あなたがここにいてくれたからこそ、出会えた絆もたくさんあります。

そばにいてくれて「ありがとう。」これからもよろしくね。

最後に

今年の広島県PTA連合会はPTAの原点である「子どもたちのため」の事業を展開します。

10月に約100名の県内の子どもたちと一緒に「劇団四季観劇」をはじめとする1泊2日の演劇体験事業を開催します。その際、保護者の皆様にもボランティア募集するかもしれません。その時は是非ご協力をよろしくお願いいたします。

1年間、子どもも大人も「楽しい!」と思える時間を提供できるように、本部役員、理事と一丸となって、前向きに、楽しく駆け抜けていきたいと思っています。

県P連の存在意義とはなにか。

私たちだからこそ出来ることはなにか。

県というスケールメリットを活かし、県内17の都市で活躍する保護者の皆様や先生たちに力添えできるように、「情報の共有」と「想いの共感」という繋がりを大切にし、互いを尊敬し、支え合える組織づくりを目指していきます。そして県内10万人を超える子どもたちの笑顔の花が一つでも多く咲き誇るように、活動して参ります。

この1年、是非、私たち県P連の想いに少しでもいいので巻き込まれてください。皆様の「しょうがないなあ。一緒にしてやるか!」の声を心よりお待ちしております。

1年間、突っ走ります。どうぞよろしくお願いいたします。

広島県PTA連合会

令和8年度

キックオフ!!

定例総会



↓ 令和8年度スローガン

すべては子どもたちの笑顔のために

6月3日(水)ホテル広島ガーデンパレスにて令和8年度定例総会を開催しました。

多数のご来賓の方にご臨席いただき、華々しい開会となりました。議事では、議長、副議長をはじめ、代議員の皆さまのご協力によりスムーズな進行となりました。ご臨席いただいたご来賓の皆さま、ご参集いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。



↓ 令和8年度 新役員がきまりました!



“一年間、よろしくお願いします”

役員・事務局一同

役職	名 前	所属都市PTA	委員会
会長	工藤 孝之	尾 道 市	
副会長	高田 大輔	江 田 島 市	教育研修★
副会長	柏崎 恵	東 広 島 市	広 報 ★
副会長	泉 圭汰	安芸高田市	教育研修
副会長	梶原 朝輝	福 山 市	総 務 ★
副会長	西山 稔大	府 中 市	広 報
会計	火田 貴之	世 羅 郡	総 務
理事	廣實 忠司	大 竹 市	総 務
理事	大儀 伸晴	廿 日 市	広 報
理事	高橋 彩	呉 市	総 務
理事	河埜内智志	豊田・竹原	教育研修
理事	渡部 亮	安 芸 郡	教育研修
理事	瀬戸 歩	山 県 郡	広 報
理事	中尾みゆき	三 原 市	教育研修
理事	田邊 義浩	神 石 郡	広 報
理事	平岡 一志	三 次 市	総 務
理事	根波 誉	庄 原 市	広 報
監事	花岡麻衣子	安 芸 郡	
監事	平川 竜也	世 羅 郡	
監事	平田 貴則	庄 原 市	

広島県PTA連合会 小・中学校PTA 広報紙コンクール表彰

小学校の部

尾道市	尾道市立高須小学校PTA	たかすっ子
尾道市	尾道市立栗原小学校育友会	栗っこタイムズ
呉市	荘山田小学校PTA	さくらの風
尾道市	美木原小学校育友会	よつば
東広島市	下黒瀬小学校PTA	ぽかぽか
安芸郡	府中東小学校PTA	くすのき 府中東小学校PTAだより

中学校の部

尾道市	尾道市立高西中学校PTA	鶴羽ヶ丘
尾道市	尾道市立栗原中学校PTA	会報栗中
尾道市	尾道市立向東中学校PTA	地の塩
福山市	福山市立城北中学校PTA	いま、ここ

おめでとうございます!



県内13校の応募作品から、小学校の部6校・中学校の部4校が優秀賞に選ばれました。

優秀賞の広報紙は第48回全国小・中学校PTA広報紙コンクール第一次審査通過作品として、公益社団法人PTA全国協議会へ送付しています。

会場ロビーの展示を多くの方がご覧になっていました。

会長研修会 令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 ～二度の大災害を経験して～

やま だ たかす
講師：山田 忠和氏

令和5年度から令和7年度石川県輪島市PTA連合会会長としてご活躍され、PTA活動に長年携わり、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨という二度の大災害を経験された山田忠和氏を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

講演では、地震発生直後の地域の状況、避難所となった学校の役割、保護者や教職員、地域住民が協力しながら子どもたちの安全を確保していった過程などが、具体的な事例を交えて紹介されました。また、豪雨災害を含む連続した被災の中で、地域のつながりや日頃のPTA活動が、非常時における支援体制の基盤として大きく機能したことが語られました。

さらに、災害対応を通して見えてきた課題や、平時からの備えの重要性についても整理され、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを守る体制づくりの必要性が示されました。

参加者からは、地域防災の見直しやPTAの役割について改めて考える機会になったとの声が多く寄せられ、実践的な学びのある研修会となりました。



分科会



講演の後、小学校・中学校でそれぞれ別の会場に分かれ、分科会を開催しました。

各分科会の中で学校規模を合わせた小グループを作り、グループワークを行いました。まずは、進行係と記録係を決めました。みなさん初対面で戸惑いを隠せない表情でしたが、さすがはPTA会長のみなさんです。どのグループもすぐに係を決めていました。自己紹介に続き、本日の講演の感想、学校や家庭、我が子のこと、PTA活動の内容や問題など様々な話し合いをしました。初めは緊張もありひそひそと始まった会場でしたが、15分経った頃からどのグループも打ち解け始め、更に30分経った頃には他のグループの笑い声が聞こえるほど、盛り上がっていきました。終了時間となり、司会者のアナウンスの間も話が止まらず、最後の最後まで盛り上がっていました。

この分科会でお互いの学校行事、PTA会長の決め方、PTA活動の内容など様々な意見交換ができ、みなさん貴重な時間になったと思います。今後のPTA活動に活かし、活躍できると思います。

交流会



交流会では各郡市から多くの会員の皆様が集まり、テーブルごとに分かれて食事を楽しみながら、日頃の活動や地域の取り組みについて活発な意見交換が行われました。

参加者同士が自然と打ち解け、学校規模や地域の違いを越えて、共通の悩みや成功事例を共有する姿が多く見られました。「同じ立場だからこそ話せることがある」「他地域の取り組みを知ることで視野が広がった」といった声も聞かれ、会員同士のつながりが深まる貴重な機会となりました。

さらに、各郡市によるPRも行われ、どの郡市も個性豊かで地域の特色を生かした紹介で大いに盛り上がり、会場全体が笑顔に包まれました。参加者からは「郡市ごとの魅力を知ることができた」「PTAの活動がこんなに明るく前向きなものだと実感した」といった感想が寄せられました。

今回の交流会は、単なる懇親にとどまらず、地域と学校を支える仲間としてのつながりを再確認する場となりました。参加者同士が互いに励まし合い学び合う姿に、協働の精神を感じました。

今後も、県内のPTAが互いに支え合いながら、子どもたちの健やかな成長のために力を合わせていくことが期待されます。

「広島県の給食には、そんなメニューがあるの？ いいなあ、私も食べてみたい!!」「そのメニュー、給食でまだ出ているの？ 懐かしいなあ」

成人して県外の人や地域の人と会話をしているとき、給食の話題になると、このようなリアクションをよく聞くことがあります。

これは自分の食べた給食が、地域食材を取り入れた自慢できるものであり、何よりも忘れられない味で、心の中で生き続けている証でもあります。

平成25年度から「ひろしま給食100万食プロジェクト」として始まり、令和3年度に「ひろしま給食推進プロジェクト」と改称し、これまで13年間取り組んできました。そして、児童生徒のみならず広く県民の皆さんに食べてもらいたいという願いをこめて、「ひろしま給食」100万食メニューとして多くのレシピを紹介しました。

「ひろしまトンチキレモン」、「ひろしましめじとレモン」、「まんさい! ひろしまご飯」…そして、「広島菜とタコのカレーピラフ」、みなさんはいくつ思い浮かぶでしょうか？ どのレシピもまさに「給食の広島県ブランド」です。

ぜひこの機会に、お子さんと一緒に懐かしい「ひろしま給食」100万食メニューを作ってみたり、さらには、その懐かしい味にひと工夫アレンジを加えてみたりしながら、「給食の広島ブランド」を楽しんでみてはいかがでしょうか？

広島県教育委員会では、今年も「ひろしま給食推進プロジェクト」の一環として、「ひろしま給食」100万食メニューのレシピを募集します。これまでのレシピを見返していると、懐かしさを感じながら、新たな発見があるかもしれません。今年も「ひろしま給食」100万食メニューヒストリーの新たな1ページをいっしょに考えましょう!

■ 広島県教育委員会ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html>



日本PTA全国協議会国内研修事業報告

参加した子どもたちの声

今回の国内研修事業で心に残ったことは大きく2つあります。

1つ目は都内のウォークラリーです。

ウォークラリーでは班の人たちと東京都内を見学しました。班の全員が目的地に着くために、友達が周りを定期的にしながら全員がそろっているか確認してくれました。班は女子が3人、男子が2人で活動したのですが、男女関係なく話してくれたり、お互いの意見を聞き合いながら、みんなが行きたかった場所に行くことができたので楽しかったです。また、都内にはたくさんの外国の方が訪れていました。そのためお店や施設にたくさんの英語表記が見られました。また、私たちの班は浅草に行った時、外国の方から英語で質問されました。はじめは戸惑いましたが、私は英語が好きで検定を取っていたので、英語で答えることができました。今回のウォークラリー中で自分が勉強してきた英語が実際に使えたことも嬉しかった事の一つです。

2つ目はYCAPです。

YCAPという活動では、班の人たちと協力して様々な課題を解決していきました。与えられた課題をよりよく解決するためにはどうすればいいのか、みんなと知恵を出し合い、話し合いを重ねました。その活動によって班の人たちとの絆が生まれ、たくさんの人と仲良くなれました。難しい課題を解決するたびに、達成感も味わうことができました。

今回の研修を通して、人との関わりをたくさん学ぶことができました。同じ目的を持っているからこそ、仲間の意見に耳を傾け尊重し合えることができました。自分と違う意見に対してもしっかりと意見をしてくれる仲間がいてくれたから、安心して活動することができました。私の地域はとても田舎で通っている中学校も小学校も小規模です。幼いころからずっと一緒に過ごしている仲間も多いです。おかげで分かり合えていることも多いのですが、一方で意見を出し合うことも少なくなりがちです。今回の研修で、新しい人と分かり合うためには、お互いに話し合うことが大切で、その積み重ねで絆が生まれることを実感することが出来ました。そして、新しい友達をつくるという喜びを味わうことが出来ました。

今回出会った仲間は、それぞれに個性があり、みんなとっても優しくかったです。みんなと出会えてとても幸せでした。こんな人生最初で最後の貴重な体験をさせてくださり、ありがとうございました。

今回の研修は自分にとって大切な宝物になりました。

原田 唯(中2)

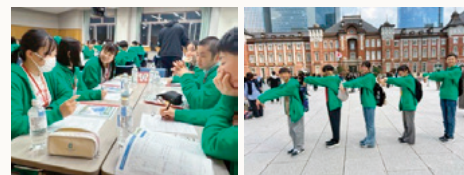
私はこの研修事業で、普段の生活では経験できないたくさんのことを学びました。2日目のYCAPでは、チームで課題を解決する活動を行い、みんなで試行錯誤しながらも男女関係なく、それぞれが意見を出し合い協力したことがとても印象に残っています。

3日目のウォークラリーは、初めての場所でわからないことだらけでしたが、班のみんなで調べたり、駅でどこに行けばいいのか迷った時に駅員さんに聞いたりして、集合場所に無事たどり着きました。また、浅草寺や東京スカイツリーなど、東京ならではの場所を見ることができ、とてもいい思い出になりました。

最終日には、この73人との別れに悲しい気持ちでいっぱいだったことを覚えています。研修報告の際にも、みんなが4日間の思い出を語っているのを聞いていて、みんなと会えたこと、この研修に来れたことは一生忘れない最高の経験になったと感じました。

私は、この研修事業でしか学ぶことのできない素晴らしい体験ができました。だから、この経験を学校や人との関わり方、人生に生かしていきたいです。

渡邊 菜奈美(中2)



小・中学生総合保障制度ご加入のすすめ

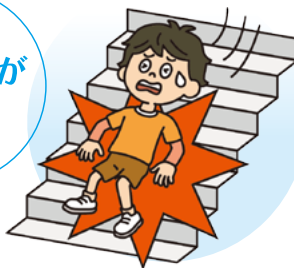
「もしもが起こった時に大切なお子さまを守る」その備えのご案内です。

お子さまが
加害者に



イラスト©東京海上日動

お子さまが
ケガ



自転車による
事故も補償

学校内 通学途中 ご家庭
お子さまがいつでもどこでケガしても
24時間補償!

保険料 **最大約29%割引!**
※団体割引25%、損害率による割引5%適用!

詳しくは
動画でご確認



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペットネームです。この広告は「広島県 PTA 連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず広島県PTA連合会ホームページに掲載の「重要事項説明書」をよくお読み下さい。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にされているときには、補償が重複することがあります。ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

令和8年2月作成 25TC-005606

[引受幹事保険会社、ご意見・ご相談先]

パンフレットのご請求はこちらまで



東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店: (株) 東京海上日動パートナーズ中国四国
保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島支社

TEL: 0120-018-217
TEL: 082-511-9194

[共同引受保険会社]

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP